



夏のなごりもだんだんと薄れ、朝晩は過ごしやすくなってきました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が延長されるなど不便な生活が続き、まだまだ大変だとは思いますが、気を緩めずに過ごしていきましょう。

## 【会員さんの声】

依頼会員 鈴木 芙希子 さん（伊豆地区）

現在10か月の次女を月2回預かってもらっています。生まれてから親元を離れたことがなく、人見知りも激しいので、提供会員さんのお宅で預かってもらうことにとっても不安を感じていました。元保育士さんということもあり、実際預かってもらうと、とても安心感があり、娘も想像よりものすごく落ち着いて過ごすことができました。

また、娘のためにお孫さんのおもちゃやプールを用意してくれたり、ベビーカーで散歩してもらったり、楽しく過ごす工夫がとても嬉しいです。

また、島では頼るあてもなく1人で子育てをしている中、少しの間でも1人の時間を持つことや、提供会員さんに子育ての悩みを聞いてもらったり、島のことを教えていただいたりすることも私にとっても、すごくありがたい存在となっています。

提供会員 平野 昭子 さん（阿古地区）

3歳の男の子、保育園の慣らし保育中に預かりました。初日は子育て広場に行き、救急車がお気に入り。散歩では、近所の猫を「かわいいねえ」と何度もなでなで。テントウムシを上手に採ったり、好奇心旺盛なお子さんです。また、春休み中だった小学生の孫たちも小さな弟ができたようで、良い経験になりました。

【遊ぶ場所や提供会員さんのご家族と一緒に遊ぶことは事前打ち合わせ時に了承済み】



## 事前打ち合わせの説明と流れ



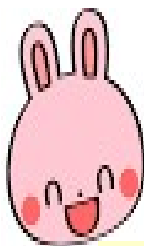
《事前打ち合わせ》 依頼会員さんと提供会員さんの活動がスムーズに行えるように、お子さん同伴で細かい内容を依頼会員さん、提供会員さん、アドバイザーで打ち合わせをしていきます。

《事前打ち合わせの流れ》 基本、提供会員さん宅にて行います。

- \* 依頼会員さんと提供会員さんの紹介
- \* 活動内容の確認（事前打ち合わせ書に必要事項を記入）

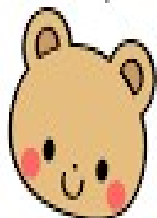
- 送迎の有無、預かり場所及び引き渡し場所の確認
- \* お子さんの情報確認
  - 健康状態（体調、アレルギーの有無など）
  - 食事、おやつ、睡眠、排泄、オムツ交換の時間
  - 好きなあそび、場所
  - 気を付けてほしいこと
  - 持参するもの（着替え、オムツなど必要なもの）
- \* 利用料金やキャンセル料、送迎有りの場合、交通費等の確認

このように、お子さん同伴で細かく打ち合わせをすることで、会員さん同士が顔見知りになり、安心して活動を行うことができます。



## サポート日記

6月24日(木) ママが大好きな女の子!(^\_^)!最初は泣いてばかりだったけど、2回目の預かりでは泣かずに遊べるようになりました。





度重なる緊急事態宣言等の発令により、予定していた講習会や交流会の開催を見合わせていただいております。現時点では、10/6(水)にシルバー人材センターの会員さんと合同で救急救命(AED)の講習を行う予定です。詳細につきましては開催が決定次第お知らせしますので、宜しくお願いいたします。

さて、今回は三宅村の保健師さんに「子どもの熱性けいれんと対応の仕方」について教えていただきました。今後のサポート活動や子育ての参考にさせていただければと思います。



## 《熱性けいれんについて》

保健師 鎌田 あゆみ

子どもの脳は熱に敏感で、風邪などの熱でもけいれん発作を起こすことがあります。生後6カ月から5歳までに、発熱時(通常は38℃以上)に起きるけいれん発作を熱性けいれんと呼びます。1歳~2歳がピークです。熱性けいれんは、熱の上がり際に多く、突然意識がなくなり、目が上や横に固定して動かない、顔色が悪い、全身が硬くつっぱる、ピクピクツツしたり、がくがくしたりして、呼びかけに反応しない、などの症状が現れます。ただし、身体の力が抜けて、ボーっとしているだけの場合もあります。

子どもがけいれん発作を起こすと、周囲の人はびっくりしますが、大事なことはパニックにならずに落ち着くことです。対処方法として、まず、子どもを安全な場所に寝かせましょう。吐くこともあるので顔や体を横向きにさせます。けいれん時、舌を噛むからと口に何かくわえさせることは呼吸をできなくする可能性があるため、やっちはいけません。そのまま安静にして、様子を観察します。叩いたり、ゆすったり大声をかけるなどの刺激は与えないようにします。ほとんどの場合が5分以内で自然におさまりますが、5分以上続く時には救急車を呼びましょう。

突然に起こるため、保護者は驚きますが、どの症状がどのくらい続いていたのかを観察しておく、受診時に役立ちます。落ち着いて観察しましょう。熱性けいれんで大事なことは、髄膜炎、急性脳症など熱性けいれん以外の重い病気と区別することです。初めての熱性けいれんでしたら、医療機関を受診しましょう。

小児期は1年を通して何らかの感染症にかかりやすいです。急性の感染症での発熱は細菌やウイルスと身体が戦っている証拠です。「頑張っている子どもを快適に、清潔にしてエネルギーを消耗しないようにしてあげること」、「発熱に伴う水分の喪失を補ってあげること」を看病のポイントにホームケアをしましょう。

観察のポイント	
身体	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手足のがくがくは左右対称か非対称か</li> <li>• 体のどの部分がかくかくしていたか</li> <li>• 目はどの方向を向いていたか</li> <li>• 呼吸状態はどうだったか</li> </ul>
時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 何分続いていたか</li> </ul>



### ★ 地区別会員登録数(8月現在) ★

	阿古	坪田	神着	伊豆	伊ヶ谷	合計
利用会員	8	4	8	7	3	30
提供会員	3	4	3	2	3	15
両方会員	1	0	0	0	0	1

問い合わせ

三宅村ファミリーサポートセンター  
〒100-1211 三宅村坪田3007  
三宅村シルバー人材センター内  
☎ (04994)6-1244